

リチウムポリマーバッテリー(リポバッテリー)の取扱いについて

マルチコプターなどに使用されているリポバッテリーはその特性上、誤った充電方法やその取扱いを間違えると破裂、発熱または発火等のおそれがあり、その取扱いには十分な注意が必要です。バッテリーの事故(破裂、発火等)は火災等に結び付くケースも多く、万一の場合は火災が発生し、人的、物的な損害を伴う大きな事故をまねく可能性があります。今一度特に注意してください。



使用上の注意

注意を怠るとバッテリー寿命の劣化が急激に進みます
また、破裂、発火の原因となります

- 充電は屋内や車内では行わず、直射日光と雨を防げる屋外で行う
- 不測の事態に備えて充電中は充電器のそばを離れない
- 充電中にバッテリーが膨れてきたり、高温になったり、発煙が有ったり、パチパチというような異音が聞こえたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜き充電を中止する、すぐにコンセントから電源プラグを抜き充電を中止する
- バッテリーに強い衝撃を与えない 衝撃を与えてしまったバッテリーは使用しない
 - ・作業台から落とさない
 - ・強く握らない
 - ・踏みつけない
 - ・たたかない
 - ・強い圧力を加えない
 - ・針で突かない
- 必ずメーカー指定の専用充電器を使い、取扱説明書通りに充電する
- 充電済のバッテリーの再充電はしない
- 急速充電はしない 充電前後には専用のバッテリーチェッカーでセルバランスを計測する
- 機体へ搭載する前に必ずバッテリーチェッカー等で95%以上充電されていることを確認する
- ケーブルを持って持ち上げない
- 使い終わったバッテリーは充電済バッテリーと混同しないよう、適切な方法で区別・管理する
- 充電サイクル* 150回を超えたらバッテリー交換の目安となる

*放電(使用によるもの、自然放電、充電器によるものを含みます)と充電のセットを「1サイクル」とします



次のようなバッテリーは使用を避けてください ※使用を続けると破裂、発火の原因となります

- 外装が破れたり、凹んだりしている等の外傷があるもの
- 新品時より、縦横が10%以上のサイズに膨らんでしまったもの
 - ⚠ バッテリーの寿命が考えられます
- 正常に充電しても使用時間が著しく短くなったもの
 - ⚠ バッテリーの寿命が考えられます
- 充電器に何らかのエラーが発生したものの、または途中で充電が停止するもの
 - ⚠ バッテリーもしくは充電器の故障が考えられます
- 充電中や放電後(使用直後)に著しくバッテリーが発熱するもの
 - ⚠ バッテリーもしくは充電器、機体の故障が考えられます
- バッテリーに衝撃を与えてしまったもの

バッテリーの温度について

以下に示す温度の範囲内で使用してください
範囲外での使用は破裂、発火の原因となります

- 充電時・放電(使用)時の温度:10~45℃以内 ⚠ 使用後は熱を冷ましてから充電すること
- ※自動車の車内等(荷台を含む)で直射日光が当たり45℃以上の温度になるとバッテリーは急激に劣化し寿命が短くなるほか、破裂、発火する可能性があります。

保管方法について

保管に際し、以下の注意事項を厳守してください
範囲外での保管は破裂、発火の原因となります

- 周囲に燃えやすい物のない所、直射日光の当たらない所、ストーブや暖炉等熱源のない所で、専用バッテリーケース等の不燃材でできたケースの中に入れて保管する
- 室内でかつ室温(5~30℃)で保管する <理想的には18℃から25℃で保管>
- 自動車等で運搬中もバッテリーの温度がマイナス5~45℃の範囲をこえないようにする

故障/修理依頼、製品に関する事については、ご購入頂いた販売店もしくは販売代理店にお問い合わせください